

**Q1** 本学着任前にされていたことは？  
専門分野は？

立命館大学で中国語を教えていました。専門分野は中国前近代の通俗文学で、小説・戯曲・芸能が中心ですが、最近では中国の食べものと飲食を書いた文学の研究が専門になりつつあります。



**Q2** 本学でやりたいことは何ですか？

神戸はなんといっても中国語圏との人と文化のやり取りが豊富な街です。じっさいに神戸に暮らす華人の方たちに年中行事や冠婚葬祭といった具体的な文化事象をうかがいつつ、前近代との連続性を考えていくことも期待しています。

**Q3** 大学時代はどのような学生でしたか？

びっくりするほどおもしろい授業を受け、才気あふれる同級生たちに刺激される毎日、アルバイトしてはおいしいものを食べることに使っていました。

**Q4** 趣味・特技は何ですか？

趣味も特技も仕事も文学！と言いたところですが…楽しみとしては、料理してそれを人に食べてもらうことです。

**Q5** 休日はどのように過ごしていますか？

家族に遊んでもらっています。

**Q6** 尊敬する人は誰ですか？

『味の台湾』（川浩二訳、みすず書房、2021）の著者、台湾の現代詩人である焦桐（1956-）です。台湾の食文化に対して、飲食エッセイの創作・文化研究・編集出版とさまざまな形で関わり続け、その見え方をすっかり変えた作家なので。



**Q7** 座右の銘は何ですか？

「ぱくぱく読んで、すらすら食べる」。

**Q8** 本学の学生へメッセージをお願いします。

私たちより詳しいことを持って、私たちにそれを教えてください。